




【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

| | |
|--|--|
| 事業番号 D-3-1 | |
| 事業名 津波避難東西連結道路整備事業（高萩陸橋） | |
| 事業費 総額 160,759 千円 （内訳：測量設計費 22,043 千円、工事費 138,716 千円） | |
| 事業期間 平成 25 年 7 月～平成 28 年 4 月 | |
| 事業目的・事業地区 東地区住民が津波災害から高台へ避難するための重要な避難路の一部である、高萩陸橋の落橋防止対策を含む補強工事を行うことで、津波避難路の強化を図る。 | |
| 事業結果 ■高萩陸橋補強工事 L=23.7m、落橋防止工一式、手摺り嵩上げ 46.98m | |
| <p>高萩陸橋(北側)</p>  | <p>高萩陸橋(南側)</p>  |
| <p>高萩陸橋</p>  | <p>高萩陸橋（落橋防止装置）</p>  |
| 事業の実績に関する評価 | |
| ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 津波災害時における、東地区住民等の重要な避難路の一部である当該陸橋は、東日本大震災時に地震による影響で大きな段差が生じ、通行が困難となり、避難に支障をきたしていた。 当該事業で、陸橋の落橋防止を含む補強工事を行ったことにより、安全に避難することが可能となった。 | |

② コストに関する調査・分析・評価

工法について、強度や施工性、経済性など多角的に検討したうえで採用しており、コストは妥当であったと考える。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

■当初計画

平成 24 年度 測量、設計業務、J R 協議

平成 25～27 年度 工事

■実績

平成 24 年度 J R 協議

平成 25 年度 測量、設計業務、J R 協議

平成 27～28 年度 工事

工法は他事例でも多く採用される工法であり、適正なもの考える。

J R との協議及び工事着手までに不測の期間を要したことにより、当初予定した、平成 27 年度の工事完成を、1 年間事業延伸した。

事業担当部局

茨城県高萩市産業建設部建設課 電話番号：0293-23-7032